

県内トップを切って新米出荷！ あいち米初出荷式が開催されました！

海部農林水産事務所

愛知県では、8月上旬から10月にかけて「あいちの新米」の収穫が続きます。

早場米の産地である弥富市鍋田地区では、2025年8月10日（日）に県内のトップを切って今年の新米が出荷されました。

1 今年のおあいち米初出荷式について

JA あいち海部鍋田集出荷場で、JA あいち海部と JA あいち経済連の主催により、あいち米の初出荷式が開催されました。初出荷式には、弥富市長を始めとする管内の関係者のほか、農業水産局長、海部農林水産事務所長などの県関係者も臨席しました。

一日検査員を委嘱された JA あいち海部マスコットキャラクターの「あまにゃん」による出荷米の検査、出席者によるテープカットなどのセレモニーが行われた後、「あきたこまち」6,622袋（1袋30kg）を積んだトラックが集出荷場から出発しました。出荷された米はすべて1等米で、8月12日以降、県内のスーパーなどで販売されました。



「あきたこまち」を積んだトラックの出発

2 今年の作柄について

JA あいち海部の鍋田地区は、水稻生産出荷農家が106名、作付面積602haのうち「あきたこまち」と「コシヒカリ」が8割近くを占める早場米の産地で、「あきたこまち」を皮切りに収穫が始まっています。本年産の「あきたこまち」は、高温やイネカメムシの発生など栽培管理条件が厳しい中ではありましたが、生産者の適切な管理により、順調に生育が進み、作柄は平年並で、品質は良好です。



農産物検査の結果を発表する「あまにゃん」と補佐する「あぐり父さん※」



今年収穫された「あきたこまち」

※「あぐり父さん」はJAあいち経済連のおあいち米キャラクター